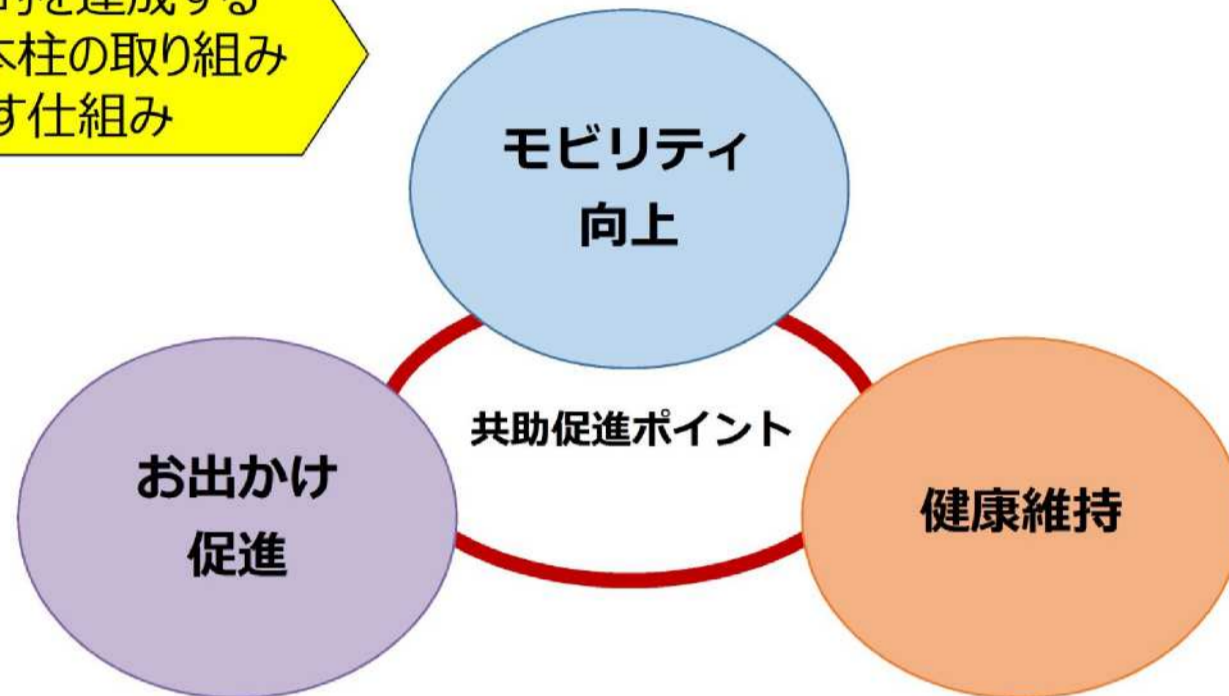


1. あすけあいプロジェクトの目的と三本柱の取り組み

中山間地域に代表される過疎地において、とくに高齢者の外出を促進することで、健康寿命・社会参加寿命を延伸して、住民の生活の質（QOL）や地域の持続可能性を向上させることを目的とする

上記の目的を達成するための三本柱の取り組み取組を促す仕組み



2. あすけあいプロジェクトの取り組み

あすけあいカー

住民同士が支え合い、高齢者の移動を助ける仕組みを始めます。タブレットを活用して、バス・タクシーも利用しやすくなります。

- 1 乗車のお断りを登録
- 2 お断りの確認・所属の承認を登録
- 3 乗車予約が成立
- 4 出発地にお迎えに行く
- 5 目的地に到着

コムス*サークル

住民の方々が楽しみながらコムスを整備・試乗する集いを通じて、日常の移動をより便利にして畑へ山へ関の集落へ”移動しやすいまち”の実現を一緒に目指します。

*コムスはトヨタ車体(株)の超小型電気自動車です。 家庭100V電源で充電できます。

ゆっくり自動運転

バス停や集会所と自宅の間をゆっくり走行する自動運転車が住民の皆さんを送り迎えします。

お出かけ促進

健康維持には外出することが大切です。支所や病院、集会所を活用した催し物や教室などを住民の方々と一緒に企画していきます。

届くこともできます。 健康教室

健康見守りサービス

お一人で暮らす高齢者の生活を人感センサーで感知するとともに、地域全体で高齢者を見守る取り組みを行っています。

住民共創

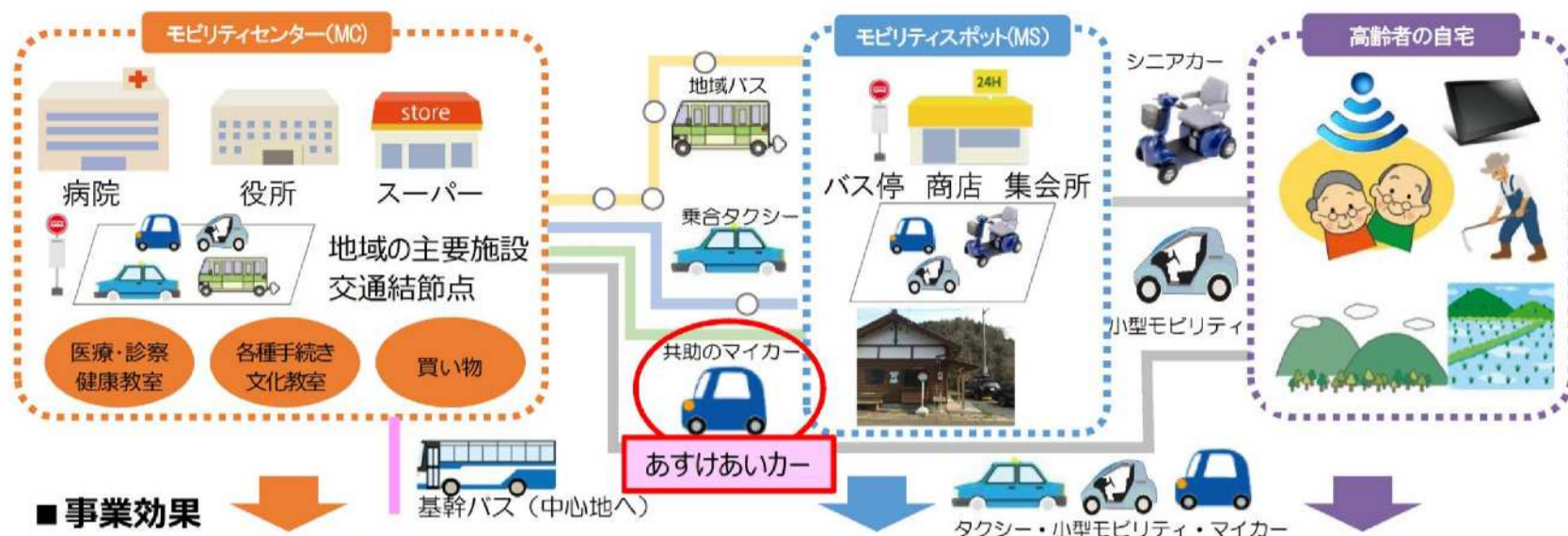
地域の絆と共助の精神のもと、住民の方々が主役となり、地域の将来を共に考え実現するコミュニティづくりに伴走します。

あすけあいポイント

住民同士が支え合うボランティアで貯まるポイントを地元商店で使える等、ポイントで地域の活性化を目指します。

3.CSSの構築 事業イメージ

中山間地域において、とくに高齢者の外出を促進することで、住民の生活の質（QOL）や地域の持続可能性を向上させることを目的とする



■事業効果

お出かけ促進の情報提供



既存教室との連携



モビリティフレンドシステム

多様な交通手段の提供

共助促進ポイントMAP

共助を促進する地域マネー

健康見守りデータ取得



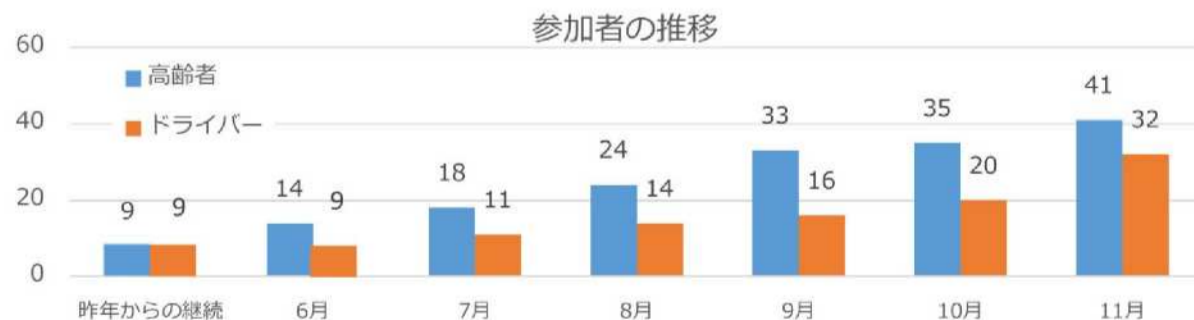
健康アドバイス

CSS 4つのサービスを統合的に提供する社会システム

4.参加状況の推移

■参加状況（H28.11月時点）

人感センサーおよびタブレットを設置した高齢者の数 41名
 あすけあいカーボランティアドライバー数 32名

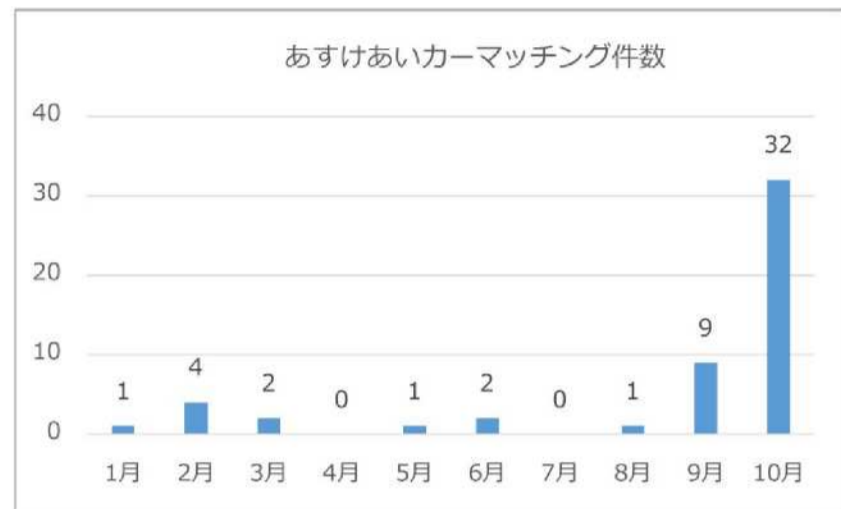


5. モビリティブレンドシステムによる相乗り支援

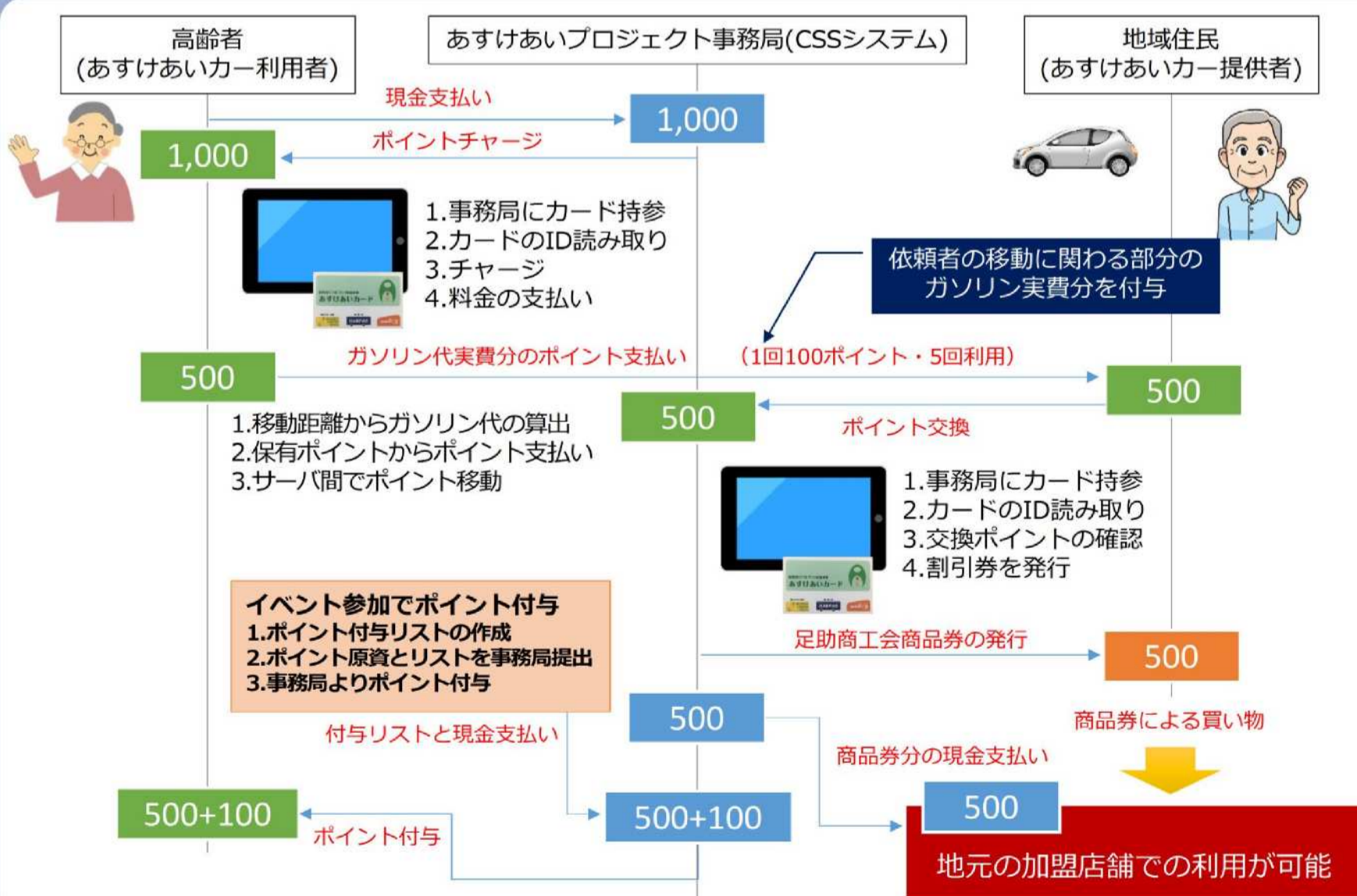
■ タブレット端末を使用した、マイカー相乗りのオファー/リクエストのマッチング

あすけあいカー同乗の様子

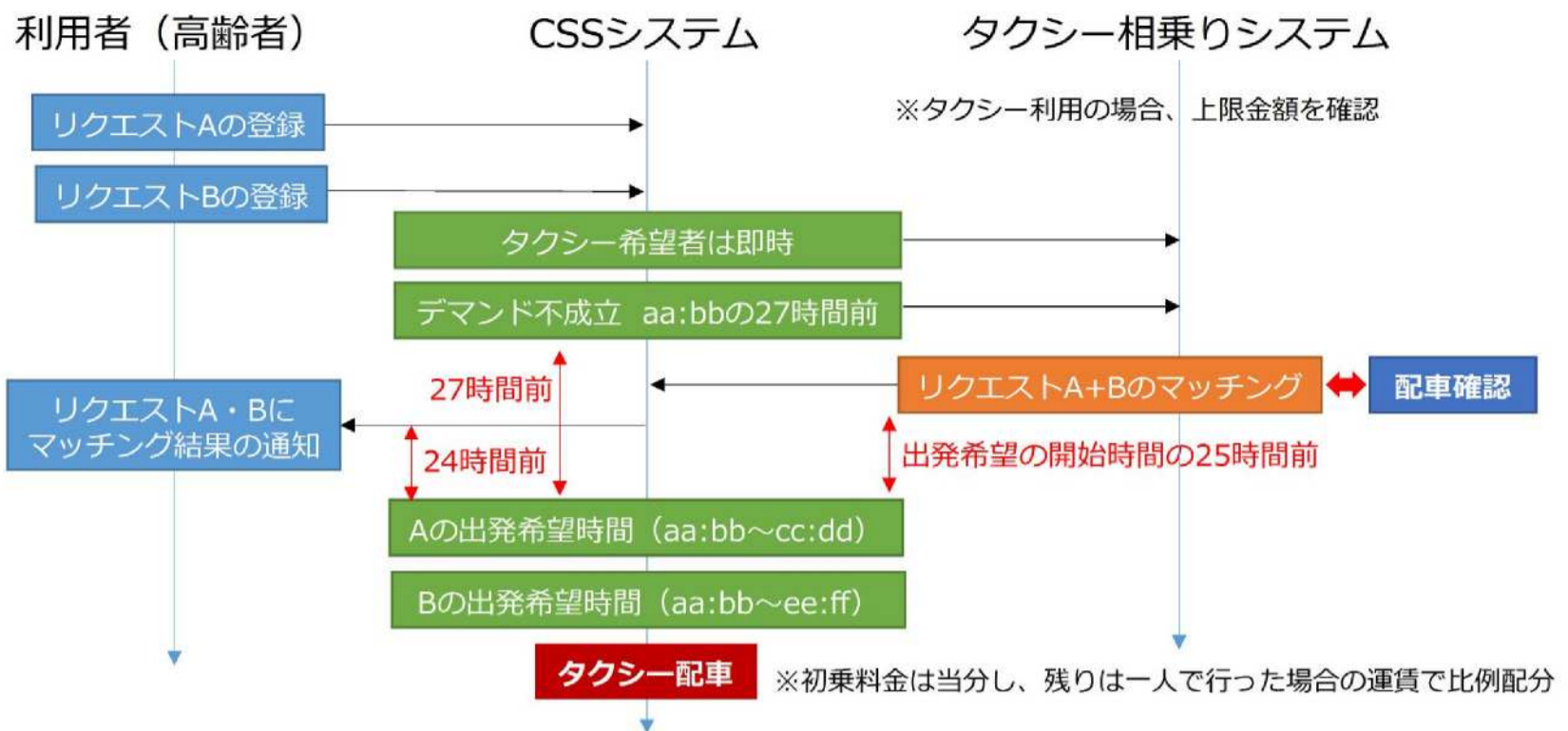
タブレット教室（お出かけ促進）への参加者数が増え、マッチングの回数が増加した。



6. 共助促進ポイント（MAP）の導入



7. タクシー相乗りへのデマンドの受け渡し



項目	内容
運営方法	H28年度は旅行業として実証実験の実施
料金体系	時間距離併用制運賃(メータ)か、時間制運賃(貸切)の安い方で実施
費用負担	初乗り・お迎え料金は利用者で等分、その他は1人で利用した料金に応じた按分通知金額を現金で決済、過不足分はポイントによる決済を行う

8. 本研究で期待される成果

(1) 高齢者の外出を促進し、生き生きとした生活を支援するシステムのあり方

- ・「モビリティ向上」「お出かけ促進」「健康維持」の三本柱戦略の有効性検証
- ・医療、生活支援、介護予防などとの連携方法

(2) 持続可能な中山間地域の運営への指針

- ・地域住民が主体となる課題解決の方法と、行政・企業・大学などの関わり方
- ・行政補助や医療費の削減方法

(3) 地域に即したモビリティの創成

- ・自動運転を含む次世代モビリティ、住民共助、シェアリングなど

(4) COI技術の実証実験

- ・高度運転支援、ゆっくり自動運転、カジュアルセンシング、お出かけ誘導、運動介入など